

毎週金曜日  
夜七時より  
市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

みんなでつくろう

みんなの 会館

三人よれば 何とかの 知恵

# 夜間学校 ニュース

1988年 3月 25日  
西成区萩之茶屋2-8-9  
旅路の里気付  
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の  
指紋押なつ拒否断固支持  
定住外国人に市民権を...

学生・外国人出稼労働者・他にも...

### 不安定 就労層にとつて

### 分裂は死に到る病

釜ヶ崎には、現在、仕事  
が多く、九千五百円以上で  
求人しているところもある。  
しかし、一部では、そんな  
単価では使えない、とつ  
つばねているところもある。  
京都方面では、今、春休  
みの学生がアルバイトとし  
て飯場に集つて、我々同  
じ仕事をくしている。  
単価は、色々あるようだ

が、七千円から八千円ぐら  
いで仕事をくしているようだ。  
だから、京都方面（京都  
に限ったことではないが）  
は、学生を使えるだけ使っ  
て、釜ヶ崎からの求人を減らし  
ている。  
また、最近、新聞やテレ  
ビなどで報いられた尼ヶ崎  
の「日光建設」のように、  
韓国からの出稼労働者の方

が安く使えるというところで、  
釜ヶ崎からの求人を減らしてい  
るところもある。  
海外から出稼に来ている  
のは韓国からだけではなく、  
フィリピン、タイなどから  
も来ている。  
それだけではなく、今は  
景気がよいとされているが、  
それ以前に、円高の影響を  
こうあると考えた企業が、  
過剰な人員整理をおこなひ、  
下請もずいぶん整理され  
た。クビを切られた人々の  
一部だが、この釜ヶ崎に働  
きにきている。現在も、不  
況業種からの失業者、高令

### 仲間の死

本籍、生所不詳、氏名自  
称高橋、年齢55歳の男  
身長158センチ、五分刈り、  
せせ型、着衣黒色スポーツ  
シャツ、紺色ズボン、遺留  
金品現金1400円、男物腕時計  
1個  
右の者は、昭和60年4月  
6日午前10時ごろ、西成区  
太子1丁目ス番3号ビジネ  
スホテル「太平洋」3階302号  
室にて発見されたもので、  
同所において窒息死したも  
のと思われる。  
津守斎場にて火葬に付した。

者が、釜ヶ崎に来ている。

今年の四月以降の仕事量は、大きな落ち込みはないと思っ  
ているが、それでも仕事を求めて  
若干厳しい状況になるかもしれ  
ない。

飯場のオヤジなどは、「学生  
や外国人労働者は、安い賃金で  
マジメに働く。釜の労働者は、  
アブシをもらって好き勝手に休  
み、注文も多すぎる。」などと  
いたくをならべて我々をケンセ  
イする。

年から年中仕事を保障し、死  
なまだメンドウを見るというの  
なら、アブシをもらうことも非  
難してもいいだろうが、先の保  
障をす気は全くなく、ともかく  
仕事量の多い時しか労働者に二  
三顔を見せたり連中には、  
二人なゴタクを並ぶる資格はな  
い。

学生や外国人労働者を持ち上  
げているのは、今の所、彼らを  
安く使いすてに出来るという利  
点があるからだ。

しかしながら、釜の労働者よ  
り安く使い捨てできる労働者は、  
そう多くはない。もしその数が  
多ければ、センターの求人はず  
口になるはずなのだから。そう  
ならないのは、仕事量全体にく  
らべて、学生や外国人出稼労働  
者の数がすいぶん少ないから  
だ。

とはいっても、彼らの存在が  
釜の雇いの条件を切り下げる  
口実として使われることはある  
し、仲間の中には、それで不満  
や不安を感じているものもいる  
ことだろう。  
中には、学生や外国人出稼労働  
者を排除する方法はないのか、  
といきまぐ仲間もいるかも知れ

ない。

だが、多くの仲間は、マア、  
それぞれの事情、生活もあるこ  
とだろうから、なんとかがうまく  
お互いにやっていきたいと考  
えているようだ。

今まで、フィリピンや韓国か  
らの出稼労働者や学生と一緒に  
働いた体験を話してくれた仲間  
たちはすべて、メンドウをみて  
やった、という話で、俺達の競  
争相手だからイジメてやったこ  
という話はなかったことから考  
えて、そう思っただけがいないと  
思う。

そもそも、親父も土ちだった  
という極一部の仲間や少年のこ  
ろからこの稼業でメシを喰って  
いたという、そう多くない仲間  
を除いては、釜の労働者の多く  
はだれでも初めは新参者であっ  
たわけだ。

仕事のあるなしについても、  
労働者の多い少ないに関係なく、  
日本の経済の大きな流れに規定  
されているという事は、四月  
から七月にかけてのアブシ地獄  
のことを考えればすぐ判るはず  
だ。

仕事の量が充分でなければ、  
みんなが、仕事よこせの闘いで  
勝ちとつていくようになけれ  
ばならない。

学生や出稼労働者が安くこき  
使われているのなら、なんとし  
ても彼らと一緒になつて、彼  
らの賃金も、釜の最底賃金・九  
千九百円にする闘いをおこな  
なければならぬ。  
そうではなく、自分の利益だけ  
を考えて、他人を排除しようと  
すれば、益々競争が激しくなる  
ばかりで、いったって我々の生活  
も益々悪くなる。分裂は死・連帯は力